

## 公共施設の性質別分類と評価に当たっての視点

公共施設は、学校や図書館などのように日常生活に必要不可欠で、かつ、市場原理により民間によるサービスが提供されにくいものがあります。一方で、住宅やデイサービスセンターなど特定の市民が利益を受けるサービスで、民間においても同様のサービスを提供しているものもあります。

公共施設を再編するに当たっては、施設ごとのサービスについて、必需性が強いのか、公共性が強いのか、といった施設サービスの性質を十分に考慮する必要があります。

そこで、施設サービスの性質を次の2つの基準を設け、必需的と選択的を横軸に、公共的と市場的を縦軸にとり、各施設が提供するサービスを性質別に分類します。

### 1. 性質別分類の考え方

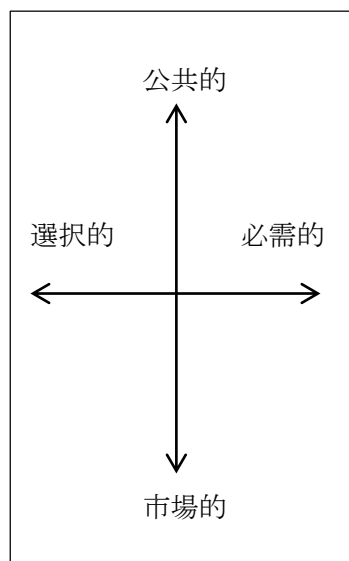
#### (1) 性質別分類の基準

##### ◆ サービスが必需的か選択的か（右図の横軸）

- ・ 必需的サービス…市民の日常生活において、ほとんどの人に必要とされるサービス
- ・ 選択的サービス…特定の市民が生活や余暇を充実するためなど、必要性が異なるサービス
- ・ (公益性) …両方の性質を併せ持つが、どちらのウエイトが高いか（社会的か個人的か）

##### ◆ サービスが市場的吗か公共的か（右図の縦軸）

- ・ 市場的サービス…民間でも同じようなものが提供されているサービス
- ・ 公共的サービス…民間では提供されにくく、主として行政が提供するサービス
- ・ (公益性) …共同利用と個人利用のどちらのウエイトが高いか



#### (2) 性質別分類

##### 必需性による分類（横軸）

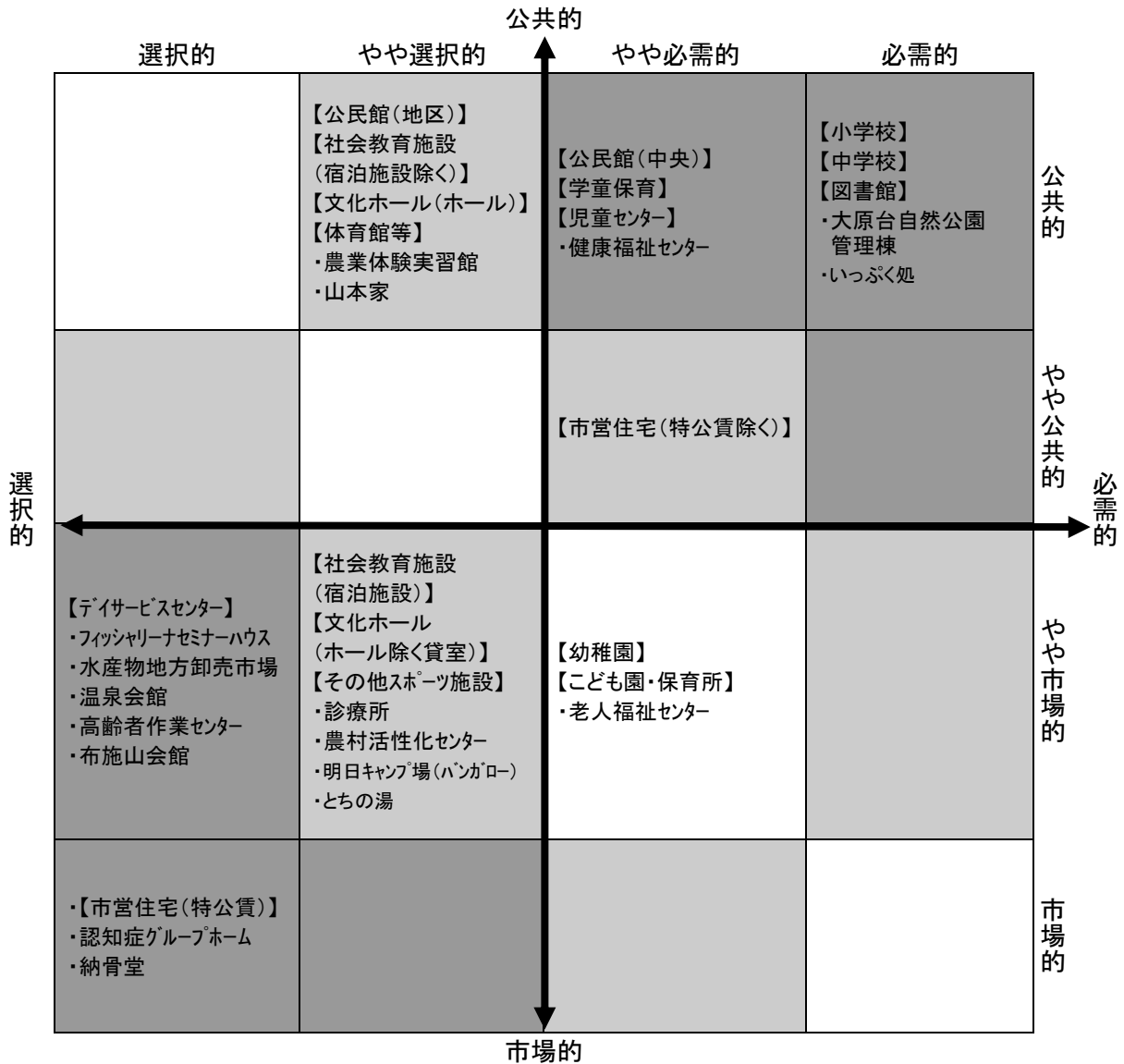
区分	I	II	III	IV
性質	選択的	やや選択的	やや必需的	必需的
	サービスの効果・利益が利用者個人に留まる（個人の自主的活動に属するもの）		サービスの効果・利益が市民や社会全体に及ぶ（市民生活全般の安定に行政の関与が不可欠なもの）	
(公益性)		一部、市民や社会全体に便益をもたらす（一部が公益的）	一部、利用者個人に便益をもたらす（一部が私益的）	
必需性の強弱	選択的			必需的

##### 公共性による分類（縦軸）

区分	性質		(公益性)	公共性の強弱
A	公共的	民間で類似のサービス提供が期待できない	共同利用性が高い(公益的)	公共的
B	やや公共的		個人利用性が高い(私益的)	
C	やや市場的	民間で類似のサービス提供が期待できる	共同利用性が高い(公益的)	市場的
D	市場的		個人利用性が高い(私益的)	

<参考：黒部市の公共施設の性質別分類（案）>

ここまで述べてきた観点から、整理・分類した手法を用いて、黒部市の公共施設の必需性、公共性及び公益性を評価し16の領域に分類します。



2. 再編に当たっての評価視点 <各領域における「利用状況」と「コスト状況」のウエイト>

A	利用△ コスト△	利用○ コスト×	利用◎ コスト-	利用◎ コスト-
B	利用×	利用△ コスト△	利用○ コスト×	利用◎ コスト-
C	利用-	利用×	利用△ コスト△	利用○ コスト×
D	利用- コスト◎	利用- コスト◎	利用×	利用△ コスト△
	I	II	III	IV

※ 「◎ 100%」 > 「○ 75%」 > 「△ 50%」 > 「× 25%」 > 「- 0%」

※ 分類できないもの（非「公の施設」）… 【市役所庁舎】、【消防庁舎】、【その他庁舎】、【貸与目的施設】、【普通財産】